

平成29年度第3回さぬき市行政評価委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年9月5日(火) 13時30分～15時30分
- 2 場 所 さぬき市役所4階第2委員会室
- 3 出席者 【委員】鈴木委員 千田委員 小山委員 津村委員  
奈良委員 森委員  
【事務局】谷課長 大生課長補佐 津村副主幹  
【評価対象所属】建設経済部長  
都市計画課長、事業担当者1名  
農林水産課長、事業担当者2名  
商工観光課長  
管財課長  
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会  
2 委員長挨拶  
3 議題  
(1) 事務事業外部評価  
①都市計画課  
②農林水産課  
③商工観光課  
④管財課  
(2) 次回開催日程等について  
4 その他  
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 平成29年度事務事業外部評価質問回答一覧(9月5日実施分)  
資料2 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	<p style="text-align: center;">＜開会(13:30～)＞</p> <p>平成29年度第3回さぬき市行政評価委員会を開会します。 本日は副委員長から挨拶をいただき、引き続き進行をお願いします。</p>
副委員長	<p>本日は委員長が欠席のため、進行を務めさせていただきます。 早速ですが議題1に入ります。既に案内している4件の事務事業についての評価を進行表にそって進めていきたいと思っております。最初に、都市計画課所管の「住宅管理事業」について5分程度説明いただいた後、質疑応答を行いたいと思っております。そ</p>

	れではお願いします。
都市計画課	<事業説明>
副委員長	質問がある方はお願いします。
委員	「市営住宅の今後のあり方」についてですが、現在旧町単位では、戸数に差が生じており、それが的確な数字なのかということと、整備ができているところもあるが、非入居戸数の221戸を早く整備して、スクラップ&ビルドの具体的な話ができるようにしてほしい。
都市計画課	旧町だと志度町には民間の住宅がたくさんあったため、市営住宅は少なかったと考えています。現在、各旧町に古い住宅がたくさんあり、鉄筋コンクリート造りのものは大規模改修をし、耐用年数まで長く使用する方針です。木造等の平屋建ての住宅は、今のところ退去されたら取り壊していますが、まだ住んでいる方がいるため、なかなか壊せません。4戸並びで1戸だけ入居しているものは、退去すれば4戸一度に壊す計画で、毎年だいたい4～5棟は、古い住宅を壊している状況です。
委員	石田の新しいところは入居していますが、全体的に空き家が多い。鶴羽などは特に多く、差がありすぎるように思います。
都市計画課	鶴羽の「鶴部団地」はH27、28年度に大規模改修をし、外壁を塗り直しました。鶴羽小学校がなくなったということもあり、現在20戸ほど空き室がありますが、鉄筋コンクリートなので、長く使いたいと思っています。すぐ横の「脇元団地」、「一本松団地」の古い木造平屋建てに住んでいる方を、できれば「鶴部団地」に移ってもらう方向に持っていきたいのですが、家賃の関係があります。
委員	石田や大川の安いところはものすごく安い。部屋代を含めて整備すると、もっと整理できる。駐車場はないが、住宅の横に軽自動車くらいなら置けるところもあるし、水回りを全部整備してくれているところもある。特に鶴羽は差が激しいので、早く一本化した方がいいと思います。
都市計画課	古い住宅は家賃が安く、なかなか退去してもらえないが、なんとか整備していきたいと思います。
委員	弱者を追い出すのではなく、家賃は払える、車も持っているが払わないような人を一番に移ってもらうようにしてほしい。
都市計画課	弱者の方でも、バリアフリーや水洗トイレがいいので移りたいとなったときに、移れるような制度を作っていかなければと考えています。
委員	収納率は28年度97.5%であるが、さぬき市の場合、一切払わないというような人は皆無ですか。
都市計画課	皆無です。全額支払えないというかたでも、出向いて相談すれば、毎月の家賃の上に余裕があれば古いものもお願いしている。1年間で半年分は入るが、半年分残るというかたがこの97.5%です。

委員	2.5%は低所得者がほとんどと考えていいですか。
都市計画課	はい。
委員	新しい住宅を建築する予定は。
都市計画課	今のところありません。 合併当初に大川の「天神団地（A棟B棟）」を建て、C棟を建てる予定であったが、人口が減り、需要も減ったため凍結しています。
委員	毎年4～5戸壊すのであれば、相当減っていくので、今は75%くらいの入居率であるからまだ25%は余裕があるが、いずれは耐震化や建築も考えていかなければいけないでしょう。 長尾の「下屋住宅」の木造住宅は取り壊す方向ですか。
都市計画課	最終的には。新しくは入れていません。
委員	近くに鉄筋がありますが。
都市計画課	「下屋住宅」の南側の2件は空き室です。
委員	壊さないのですか。
都市計画課	北側の2件と一緒に壊そうと考えています。
委員	今住んでいる方には、壊すとき他へ案内するのですか。
都市計画課	長尾の方だから、「長尾A団地」がいいとなっても、すぐには入れないです。
委員	平屋だが地震がきたら壊れるし、そうなると市に責任があるのでは。
都市計画課	「下屋住宅」は、耐震はあると判断しています。
委員	わかりました。 全体として、所管課の考えは「要改善」ですが、老朽化しているものの除却という意味ですか。それとも収納率のほうですか。
都市計画課	「古い住宅の住み替え」などの改善を行いたいということです。
委員	そうすると「拡充」のほうがよいのでは。
委員	他市町と比べて、さぬき市の公営住宅の整備力は高いのですか。
都市計画課	東かがわ市は多いです。400～500戸あります。 高松市はまた別です。
委員	整備全体の長期計画のようなものはあるのでしょうか。

都市計画課	「市営住宅の長寿命化計画」があり、今あるものを長持ちさせましょうというものです。その中で古い住宅は壊し、統廃合して、別に建て直す計画です。鉄筋コンクリートのものを何年かおきに改修し、寿命を少しでも延ばして建替えの第1歩となるようにしています。
委員	市外から転入してきた人で、すぐ市営住宅に入りたいという需要はあるのでしょうか。
都市計画課	基本的に市営住宅に入れる人は、さぬき市に住所がある人です。市外の方でさぬき市にお勤めされている場合は応募できるが、そうでない方は申込みできません。
委員	基本は旧町をもとに集約化ですか。
都市計画課	集約できればですが、今は退去すれば壊すということを行っています。最終的に適度に残っているところに統廃合する形になると思います。
委員	市全体ではなく、旧町単位でお願いしたい。
都市計画課	今いる入居者の方と相談しながら進めていきたいと考えています。
委員	国の補助金の配分が少なくなり、「長寿命化計画」が遅れているのですか。
都市計画課	計画が決まり、最初に「鵜部団地」に取りかかったのですが、配分が6割だったため、3棟のうち2棟しかできず、残り1棟は翌年になりました。年間に1～2棟ずつずれてきています。35年度に終わる予定が、38年度となっています。
副委員長	他にありませんか。
委員	「要改善」という評価が、やはり気になります。 長寿命化をし、入居率が95%くらいになれば、それが一番いい状態ですかね。
都市計画課	はい。
委員	他の事業は「要改善」といえば、今の計画が悪いから、新たに変えているので、「要改善」という言葉がピンとこない。「現状維持」ではないかと思います。これ以上に需要があり、住宅をたくさん建てないといけないということもなく、長寿命化させて順次減らせていけば、今のままで構わないと思います。
都市計画課	「要改善」にした理由は、今は退去すれば壊すだけで、古い住宅の「統合」と「建替え」ができていないためです。
委員	現状、耐震には十分適用されているという考えでよいでしょうか。
都市計画課	木造以外は。
委員	入居者のことも考え、ぜひとも住み替えをお願いしてもらいたい。
都市計画課	そういう意味もあります。

委員	耐震化しないといけないものはどのくらいあるのですか。
都市計画課	木造と平屋のコンクリートブロック造りのものが、190戸ほどです。
委員	結構ありますね。ちなみに「長尾A団地」は耐震あるのでしょうか。
都市計画課	あります。
委員	先程「要改善」、「現状維持」という話があったが、私は「抜本的見直し」ではないかと思います。内容的に空き家が多く、効率が悪い。「統合」できるよう話し合いをしているということであったが、遅すぎるのではないかと思います。国庫補助金は減ってくるのはわかっているのに、先に手段が取れていなかったこと、一人しか住んでいないのに壊せないという場合でも、場所が遠くなっても何か方法を考えるのが仕事ではないかと聞いていました。制度を作らないと話ができないということであったが、それがないと入居者と話し合いができないのですか。
都市計画課	制度というより市の体制です。市がどういった方向に持っていくか。一人暮らしの方に移っていただきたいのですが、空いている部屋が3K（家族用）しかなく、単身用が空いていない。また、空室が1階であればよいが、2階から上しか空いていなくて階段で不自由をかける。また、家賃が上がるという話もしなくてははいけない。
委員	民間でも外国人がたくさん入っているところなど安いところがあります。一人暮らしの入居者は多くないと思うので、そういった方は民間と連携するなど、何か方法を考える。経費がかかると言っても、何年も置くのは合理的でないと思います。
副委員長	他にありませんか。 なければ評価シートに記入をお願いします。  <評価シート記入>
副委員長	続きまして、農林水産課の「ワイン加工施設管理事業」に移ります。 担当課から5分程度で事業を説明してもらい、そのあと質疑応答を30分程度行います。では、お願いします。
農林水産課	<事業説明>
副委員長	それでは、ご質問をどうぞ。
委員	SA公社でないと収支はわからないと思いますが、その年度にいくらの経費が必要であるか出してもらっているのでしょうか、それとも毎年一定の金額を出しているのでしょうか。
農林水産課	指定管理料はゼロです。
委員	収益の中で人件費を含めて全部してもらっているのでしょうか。
農林水産課	

委員	はい。
農林水産課	赤字はどうしているのでしょうか。
委員	S A公社の中で、サービスエリアなど他の収入から補填しています。
委員	以前からだが、市が行う事業ではないと思っている。施設そのものを触らなければいけないならやめたほうがいい。もともとぶどう農家の育成が本来の目的であったと思います。昔は、造田から志度にかけてぶどうや桃をたくさん作っていたが、今は生産も減少し、県外のぶどうを使っていると思っていたが、ぶどうの市内供給率が86.7%とあるのは、間違いはないのですか。
農林水産課	現在市内のぶどうと多度津からの購入です。
委員	多度津から13%くらいですか。
農林水産課	はい。去年のさぬき市の率が高いのは、多度津のぶどうの出来がよくなかったからです。27年度、26年度は60%くらいです。
委員	60~80%もあれば、効果を発揮していると思う。もっと低いと思っていました。規模の問題もありますね。全体量を減らせば、供給率は上がるので。
農林水産課	ぶどう農家は、毎年決まった方で、あとはその年の生産量に応じて増えたりしています。
委員	旧5町が持っていたものはさぬき市が受け継いでいるが、思いきって必要ないものはやめてもいいのでは。香大の農学部が作っているワイン(R-1)は美味しいので結構売れているが、将来的には何か考えがあるのですか。
農林水産課	今のところ、投資的なもの(修繕の大きなもの)は大方終わっているもので、これからは生産量を増やす方向です。赤字も下がってきています。
農林水産課	ぶどうの圃場もワイナリーが管理しており、去年は圃場の土の整備や排水の整備をしたので、支出が大きくなったと聞いている。毎年あることではないです。
委員	意識されて「評価点」も低いのではと思うのですが。
農林水産課	施設の管理についてです。 ワイナリーの運営や商品、製造についてはまた別の評価であると思います。S A公社も商工観光課の事業を使い、力を入れていますので。
委員	指定業者を変えてから非常に良くなっていると思います。最初から生産していたでいる農家も何軒もあり、生産量も7~8割市内で採れている。その辺のところをしっかりと説明しないと、「評価点17点」では、もうやめたらいいという意見も出てきます。別の形で25点くらいのやる気の点を出すべきではないかと思います。指定業者を変えてからの中身や運用が変わって上手くいってきていることも評価し、商工観光課とも連携して頑張ってもらいたいと思います。

委員	<p>頑張ってもらいたいという観点から、86%もさぬき市で賄っているのなら、もっとPRをしてほしいです。</p> <p>今、生産農家は何人ですか。</p>
農林水産課	<p>9人です。</p>
委員	<p>できるだけバックアップをしてほしい。高齢化しているのに、若い人への継ぎのようなものはあるのですか。</p>
農林水産課	<p>市から若い方への案内は、今のところできていません。</p>
委員	<p>継続して事業を進めていただきたく、できるならさぬき市で100%賄える形で取り組んでほしいと思います。</p>
委員	<p>農林水産課で、足りない分のぶどう農家の育成や後継者の育成などをワイナリーの事業に含めていくようにしないと、後継者がいないと続けられなくなってしまいます。ぶどう農家の育成と観光面に結び付けていくという2つが大きな柱だと思います。「三次ワイナリー」や「島根ワイナリー」など、たくさんバスツアーが来ているので、観光に結び付けたいという気持ちもあっての「17点」でないかと思っています。</p>
委員	<p>ワインを買いたいという気持ちになるくらいの、ワンランク上の味を目指してほしい。</p>
農林水産課	<p>前向きに進めている状況です。</p>
委員	<p>しっかり進めていただきたい。</p>
委員	<p>生産者とさぬき市とSA公社で話し合いは持たないのか。施設の管理だけで、生産者のことをあまりご存知ないようであるし、売っている会社についてもあまり入って行っておらず、問題だと思う。市の事業とするなら、もっと3者で話し合うことが大事なのではないでしょうか。</p>
農林水産課	<p>ワインの加工施設の事業なので、SA公社の生産となると商工観光課がメインになります。</p>
委員	<p>関わっているが、話はしているのでしょうか。</p>
農林水産課	<p>繋がってはいますが、農林水産課は施設の話となってしまうので、生産となるとこちらでは難しい。</p>
委員	<p>部門が多すぎるのか、細かすぎるのでしょうか。</p>
委員	<p>市民は細かいところまでわからないので、一生懸命仕事されている方にはマイナスになるので、その辺りをもう少し考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>赤字が5,851,000円あり、次の「温泉施設管理事業」とも関連するが、SA公社の財政を圧迫していると思うが、累積赤字が増えていったら大変になると思うので</p>

	すが、見通しは。
農林水産課	さぬき市から毎年 4,100 万円～4,200 万円だしており、S A 公社の儲けが 2,000 万円くらいと相対的には年間赤字です。温泉をどうするかという話もあり、いろいろな事業が赤字となっています。
委員	部局間での話し合いをぜひ持っていただきたい。  他にありませんか。 それでは、評価シートの記入をお願いします。  <評価シート記入>
副委員長	続きまして、商工観光課の「温泉施設管理事業」に移ります。 担当課から 5 分程度で事業を説明していただき、そのあと質疑応答を 30 分程度行います。では、お願いします。
商工観光課	先程の件に付加えさせていただきます。 ぶどうについてですが、農林水産課と一緒にできればと思っているのは正直なところです。500 万円の赤字についてですが、S A 公社自体の収益は全体でプラス 2,300 万～3,000 万円程度です。ワイナリー単体だとマイナス 500 万円ほどで、全体の収支はプラスとなっています。
商工観光課	<事業説明>
副委員長	それでは、ご質問をどうぞ。
委員	「ツインパルながお」は県から市に譲渡されていますよね。
商工観光課	はい。
委員	市が改修しても問題ないですか。何年分か、県から奨励金が出ていますよね。
商工観光課	今後できるだけ長く継続してほしいということで出ています。今まで修繕費で 6,000 万～7,000 万円くらい使っており、8,000 万円くらいを残しています。
委員	使い切るまでは、県に相談しながら続けるということですか。
商工観光課	はい。 県が、20 年間は今の形で継続してくださいと言われていました。
委員	三木町の「サンサン館みき」はものすごい波及効果があります。「ツインパルながお」はお金もかかっているし、温泉以外にも機能があるがほとんど使っていない。アンケートの結果次第では、抜本の見直しをお願いしたい。
商工観光課	「ツインパルながお」の経営を一番圧迫しているのは、体育館とプール棟の電気代です。敷地内に電力のメーターが 1 つですが、契約がデマンド方式となっています。ピーク時電力（8 月のプールのエアコンと体育館のエアコンの電気代）を 1 年

	<p>間通しで基本料金として計算されるので、固定費がかなりかかります。まだ案ですが、例えば温泉と体育館を切り離し、体育館を市立の体育館とすれば、一定のランニングコストが下がります。体育館に今と同じ冷暖房機能を持たそうとすると工事費だけで1億円近くかかるので、毎年100万円ずつでも補正することを比較検討しています。県からの8,000万円のお金が、そちらにいく可能性もあります。</p>
委員	<p>もっと早くにしていれば、こんなに赤字にならなかったと思いますが、それには合併という弊害もかなりあったと思います。</p>
委員	<p>体育館を半面だけ借りるということはできるが、半面だけ借りると電気は半分、エアコンは全面という契約になる。そうすると体育館の真ん中の辺りは暗く、競技しづらいので、半分でも使いやすいようにしてほしい。体育館自体は悪くないので。</p>
委員	<p>料金は高いのですか。</p>
商工観光課	<p>値上げをしています。</p>
委員	<p>一次評価は「要改善」、二次評価は「統合・廃止」であるが、「廃止」の方向で検討しているということですか。</p>
商工観光課	<p>市長とも協議をした結果、このままでは駄目だとなり、9月の議会に出しますが、通常の指定管理は5年設定ですが、今度更新時期がくる「カメリア温泉」は、3年契約にしようと考えています。去年の段階で「春日温泉」「ツインパルながお」「みろく温泉」は通常5年契約するところを3年で契約しました。この3年間でなんらかの結論を出します。</p>
委員	<p>「カメリア温泉」は地元の人達がもう一度やり直したいと自腹でがんばり、損益が持ち直してきています。地元の力がものすごく生きている。そういった形でやれば、市の財政も良くなり、応援しようという気持ちになります。「春日温泉」も地元ががんばろうとしている。「みろく温泉」は待っているように思えます。「カメリア温泉」はイベントも以前と変わってきており、努力が見られます。</p>
委員	<p>全部廃止し、さぬき市に温泉施設が1つもないのは寂しいし、観光面にもよくない。どこかに絞って、重点的に設備をよくし、市を挙げて活性化対策をしてほしい。</p>
委員	<p>香川県で温泉がない市町はありますか。</p>
商工観光課	<p>ほとんどのまちにあります。</p>
委員	<p>どの市町も、ものすごく収益がいいというところはなく、民間施設を利用することが多いということですね。</p>
商工観光課	<p>さぬき市でも5万人を6つの温泉で取り合いしている。以前調査したときも、温泉があるから行きたいというのではなく、家庭風呂の延長で行くという意見でありました。外からの呼び込みはあまりなく、市内の人が、どこかに行っている。ここは休みなのであっちに行こうかなど、巡回している状態である。年齢層も40～70代の人が減ってきています。</p>

委員	3年以内にはある程度の報告ができるということですね。
商工観光課	そう思っています。
副委員長	他にありませんか。 なければ、評価シートの記入をお願いします。
	<評価シート記入>
副委員長	それでは、本日最後、管財課所管の「生活環境整備事業」に移ります。 担当課から5分程度で事業を説明していただき、そのあと質疑応答を30分程度行います。では、お願いします。
管財課	<事業説明>
副委員長	それでは、ご質問をどうぞ。
委員	結構な数がありますよね。
管財課	財産的にですか。
委員	はい。
管財課	財産的にはありますが、田んぼの中の農道等はこの事業では触っていません。
委員	というのは。
管財課	あくまで、民家が密集している2世帯以上が利用している道等で、本来の田んぼ道は扱いません。
委員	他の事業があるのですか。
管財課	市から地元に助成金を出している。
委員	土地改良事業とかですか。
管財課	そうですね。
委員	自治会から要望が挙がってくるようになっているが、自治会が気づかずに挙がってこないものについて、市全体の点検のようなものは、課として行っているのですか。
管財課	そこまではできていません。
委員	要望があれば、ですか。
管財課	個別の要望を自治会から提出いただいています。

委員	毎年挙がってきたものは、予算内で消化できているのですか。
管財課	ほぼできています。予算を超えたものは、次年度にお願いしています。
委員	「法定外財産」とは具体的にどういったものですか。
管財課	国有の、法務局の図面でいうと地番のない白地の道とか水路です。
管財課	この辺りでいうと、志度地区の商店街を南北に繋いでいるような路地はいわゆる農道です。田んぼの中で言えば、田んぼと集落を繋いでいる道のことです。昔で言う国有の農道です。
委員	舗装工事が主ですか。
管財課	はい。
委員	水路も。
管財課	水路はU字溝を入れて、あくまで現状の姿で水の流れをよくする、両サイドは壁ができていますが、底打ちが悪いので改修するといったものです。
委員	昔の町道は町道のままですか。
管財課	町道認定しているものは、市道になっています。
管財課	この事業でするのは、生活に一番使われているところです。
委員	自治会長は、そういうことを認識してから挙げてきているのでしょうか。
管財課	最初は要望だけです。その中で、財産がどのようなものか、県が関係するかなど調査して、できるかどうか回答しています。
委員	管財課だけではないということですね。
管財課	担当部署がありますので、それぞれのできるところで解決できるようにしています。
委員	国からの一定の補助も算定基準に入っているのですか。
管財課	補助はありません。 もともと国有であった農道・水路は、財産的には国ですが、管理は県が所管です。境界確定とか用途廃止するのに、ものすごく時間がかかるため、できるだけ市町に譲ってほしいという協議の中で譲ってくれることになりました。
委員	今、境界確定は全部市がしているのですか。
管財課	もちろん土地家屋調査士に入ってもらって、所有者が依頼して、その中で境界を決めていきます。

委員	それは同意がいるということか。
管財課	そうですね。
委員	草刈りは、地元の自治会でしてもらおうということですね。
管財課	そうです。 従来どおりの維持管理については、自治会や主に隣接している農地の方や家の方となります。
委員	県道かなと思いながら、調べて法定外であった場合、県に言っても駄目ですね。
管財課	はい。 県道・県河川の管理は県の土木がしますが。
副委員長	他にありませんか。 実施件数ですが、27年度は「計画値40」で「実績値が23」、28年度は計画値37で「実績値が19」と実績件数が少ないように思いますが。
管財課	1つの件数で、金額が少ないものは、何か所か集めています。
委員	水利組合との連携もありますよね。
管財課	そうですね。
管財課	水利組合の方も自治会と協力して、田植えの前に水路の掃除をしたりしています。
委員	ゴミは持って帰ってくれますね。
管財課	生活環境課の方で対応しています。
委員	用途廃止は多いのでしょうか。
管財課	だいたい毎年20件から上はあります。境界確定は120～130件です。
副委員長	他にありませんか。 なければ、評価シートの記入をお願いします。
副委員長	<評価シート記入>  以上で、第3回さぬき市行政評価委員会を終了します。ありがとうございました。
	<閉会（15：30）>